

【資料1】

令和6年度 宮城県地域年金展開事業 実施結果



仙台東年金事務所(宮城県代表年金事務所)

目 次

1	地域年金展開事業の概要	P 2
2	地域連携事業	P 4
3	年金セミナー事業	P 9
4	地域相談事業	P14
5	年金委員活動支援事業	P15
6	「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み	P19
7	宮城県地域年金事業運営調整会議	P19
8	各年金事務所の取り組み	P20

1. 地域年金展開事業の概要(1/2)

日本年金機構

本部 広報室

・広報計画のとりまとめ、広報実施計画の策定

連携

本部 各事業部

・年度の取組計画及び広報計画の策定、実施

連携・共有

連携・共有

本部 事業推進統括部 管理・市区町村調整G

・各事業部及び広報室との連携・共有、発信する情報等の確認
・地域部との連携・共有、指示等
・地域代表年金事務所との連携・共有、指示、調整等の依頼等
・年金事務所への情報提供、取組の指示等
・年金委員への情報提供、活動の協力・依頼
・関係機関・団体等との協力・連携、効果的な周知・啓発の取組

連携・共有

本部 地域部

・取組の進捗管理、指導、助言

連携・共有

地域代表年金事務所

・関係機関との連絡調整
・年金事務所の状況把握

年金事務所

・地域年金展開事業の実施
・年金委員等への研修、情報の提供、活動の要請

年金委員

・年金制度に係る周知・啓発

地域年金推進員

・高校・中学を対象に年金セミナーなどの活動

連携・共有

事業部の取組

- ・未適用事業所に係る取組
- ・適用に係る調査
- ・納付、免除等に係る取組
- ・年金給付にかかる取組 等

事業の策定

事業の実施

地域年金展開事業

～公的年金制度の周知・啓発～

- ①ポスター、チラシ、リーフレット等の配布
- ②年金制度説明会
- ③年金セミナー
- ④出張年金相談会
- ⑤地域年金事業運営調整会議
- ⑥「ねんきん月間」、「年金の日」における各種取組
- ⑦「わたしと年金」エッセイ 等

地域年金展開事業の策定

地域年金展開事業の実施

連携・共有

対象

学生

取組:①③⑥⑦

国民年金 被保険者

取組:①②③④⑥⑦

厚生年金保険 被保険者

取組:①②④⑥⑦

事業主

取組:①②④⑥⑦

年金受給者

取組:①②④⑥⑦

地域のネットワーク/協力・連携する機関

厚生労働省 ⑤

・年金局
・職業安定局
・保険局
・社会・援護局
・地方厚生(支)局 など

地域 ⑤

・地方自治体(市区町村、県庁)
・地域のコミュニティ(自治会・町内会)
・地元企業
・教育機関(大学・高校・専門学校)
・商業施設・商工会 など

関係機関・団体 ⑤

・年金受給者協会
・社会保険協会
・社会保険(年金)委員会
・社会保険労務士会
・社会福祉協議会
・健康保険協会各支部/各健康保険組合 など

1. 地域年金展開事業の概要(2/2)

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言をうかがいます。

《本来の取り組み内容》

地域連携事業	<ul style="list-style-type: none">・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。
年金セミナー事業	<ul style="list-style-type: none">・職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。・大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。
地域相談事業	<ul style="list-style-type: none">・年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。
年金委員活動支援事業	<ul style="list-style-type: none">・年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。
地域年金事業運営調整会議	<ul style="list-style-type: none">・公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2 地域連携事業

(1) 事業の取り組み状況

① 自治体との連携

市区町村職員向け情報誌「かけはし」により、制度改革、国民年金や年金受給に係る届出の留意点等の情報提供をさせていただくとともに、各年金事務所において、宮城県内の市区町村職員を対象に事務研修会を開催し、制度周知や情報共有を行いました。

また、対面による市区町村の新任担当者向けの国民年金事務や障害年金制度にかかる研修会を実施する等により、協力や連携を強化することができたと考えております。

○事務研修会開催状況

	令和6年度 実施回数	令和5年度 実施回数
仙台東	4回	4回
仙台北	5回	4回
仙台南	4回	4回
石巻	4回	4回
古川	4回	4回
大河原	4回	4回
計	25回	24回

○市区町村向け情報誌「かけはし」



② 関係団体等と連携した研修会・説明会等の実施

より多くの方に効果的に様々な情報提供を行える機会をいただけるという利点もあり、各関係団体との講師派遣等にかかる連携・協力による研修会・説明会等を積極的に行っております。

関係団体等のご協力により、令和5年度以上の研修会・説明会を実施することができました。

令和7年7月にお送りした資料では、10回と記載しておりました。
修正の上、お詫び申し上げます。

○関係団体等研修会等開催状況

	令和6年度 実施回数	令和5年度 実施回数	開催年金事務所	内容
全国健康保険協会宮城支部	12回	15回	仙台東・仙台南・石巻・ 古川・大河原	算定事務講習会 職域型年金委員研修会 健康保険委員研修会 新任事務担当者向け説明会
宮城県社会保険協会	14回	10回	仙台東・仙台北・石巻・ 古川・大河原	算定事務講習会 新任事務担当者向け説明会 年金シニアライフセミナー 新規適用事業所向け説明会
宮城県年金協会	2回	2回	仙台北・大河原	年金給付制度説明会
ハローワーク	3回	4回	仙台東・古川	短時間労働者適用拡大に関する説明会 今後の働き方と社会保険のしくみ
国税局	5回	—	仙台東・仙台南	職域型年金委員研修会 (年末調整・確定申告)
社会保険労務士会	1回	—	仙台東	算定事務講習会
計	35回	31回		

③ 「第6回宮城県年金ポスターコンクール」

2 地域連携事業

県内中学生を対象として、県内では6回目となる宮城県年金ポスターコンクールを開催しました。

応募状況については、令和5年度を大きく上回る県内35中学校から94作品を応募いただき、その中から厳正なる審査のうえ、各賞を決定、表彰をさせていただきました。

中学生一人一人が年金について考え、作成いただいた作品は、「支えあいによる明るい未来」をイメージしたものであり、家族を守りたいという優しさにあふれた作品、子供たちがお年寄りをしっかり支えている作品等、明るい未来を期待させてくれるような心温まる作品を多数応募いただきました。

応募いただいた作品について、青葉通り地下道、石巻駅、古川駅、大河原駅、イオンモール新利府南館での展示に加え、東北電力グリーンプラザアクアホールにおいても作品の展示を行い、より多くの方にご覧いただくことができました。

東北6県 年金ポスターコンクール

	令和6年度		令和5年度	
	応募中学校数	応募作品数	応募中学校数	応募作品数
宮城県	35	94	22	45
青森県	11	39	5	8
岩手県	30	108	19	54
秋田県	9	23	9	24
山形県	8	60	14	90
福島県	21	84	10	51
東北計	114	408	79	272



最優秀賞

仙台市立宮城野中学校
兵藤 瑠香 さん

『審査アドバイザーからのコメント』

世代を超えた「笑顔」がとても素敵なポスターです。黄色を背景に色とりどりの配色がなされています。全ての色がお互いを邪魔をすることなくまとまっているところは見事です。色塗りも丁寧なため、とても安心して眺められる作品に仕上がりました。

厚生労働省東北厚生局長賞



石巻市立蛇田中学校
鈴木 ほのか さん

『審査アドバイザーからのコメント』
「年金で育てる未来の私」のイメージどおりの描写がなされています。ジョウロで若葉に水をあげ、虹が描かれています。ジョウロを持つ手の表情が柔らかくこのポスターをより良いものになっています。土の描き方がとても素晴らしく、明るい部分と影の部分で太陽の光を感じさせる作品となっています。

宮城県社会保険協会長賞



仙台市立加茂中学校
鈴木 愛叶 さん

『審査アドバイザーからのコメント』
水彩絵の具の特徴をうまく使った作品です。色の濃淡や色の重なりがとても綺麗です。手前と奥を建物の外壁と道による奥行きで表現し、その中心に文字を配置しています。手前にできた人物の影は、世代や未来、年金について考えさせる構図をつくっています。

優秀賞(3点)



松島町立松島中学校
本間 梨央奈 さん



色麻町立色麻学園
渡邊 茉奈 さん



仙台市立長町中学校
高橋 陸斗 さん

作品の展示会



青葉通り地下道



東北電力グリーンプラザアqualホール



イオンモール新利府南館

総 括	今後の対応
<p>研修会・説明会等については、自治体や関係団体等のご協力により、令和5年度を上回る回数を実施することができ、様々な対象の方々へ必要とする情報を提供させていただくことができたと考えております。</p>	<p>「制度を知らないことによる不利益」を国民に生じさず、令和7年度も、より多くの方々へ必要とする制度や届出等に係る効果的な情報提供を効率的に行えるよう、自治体や関係団体等のご協力のもと、研修会・説明会等の地域連携事業を拡大してまいります。</p> <p>令和7年度においては、オンラインビジネスのさらなる拡大の他、「外国人の適用・収納対策」についても重点的に取り組むこととしております。</p>
<p>年金ポスターコンクールについては、皆様のご協力のお陰で、令和5年度を大きく上回る県内35中学校から94作品を応募いただくことができました。展示会で応募作品をより多くの方にご覧いただくことができ、表彰についても以前よりも充実した形で開催することができました。</p>	<p>若年層および地域において、年金制度へ関心を持っていただくため、またご後援いただいている機関等のご協力があったからこそ開催できている、この地域に根差した重要な取り組みを、将来に向け、効果的に発展させていけるよう取り組んでまいります。</p>

3 年金セミナー事業

3 年金セミナー事業

(1) 事業の取り組み状況

① 年金セミナーの実施状況

次世代の主役となる若年層に年金制度の仕組みや必要性について正しくご理解いただくため、年金セミナー事業を推進しています。

令和6年度においては宮城県全体の実施校、実施回数および受講いただいた人数を令和5年度より増やすことができました。担当する年金事務所職員のセミナーの質の向上のため、研修の開催や模擬セミナー等を定期的に行い、年金セミナー実施に当たっては、アンケートにご協力いただき、多くの意見等をいただきながら、より効果的な若年層への制度周知が行えるよう検討を重ねていきます。

○年金セミナー実施状況(年金事務所別)

○年金セミナー実施状況(教育機関別)

	令和6年度 実施校数	令和6年度 実施回数	令和5年度 実施校数	令和5年度 実施回数
仙台東	29校	37回	22校	27回
仙台北	8校	9回	10校	10回
仙台南	6校	7回	5校	6回
石巻	6校	9回	5校	9回
古川	6校	7回	6校	9回
大河原	5校	6回	4校	4回
計	60校	75回	52校	65回

	令和6年度 実施校数	令和6年度 受講人数	令和5年度 実施校数	令和5年度 受講人数
大学、短大	14校	1,080名	10校	1,083名
各種学校	13校	562名	12校	739名
高校	31校 (定時制高校1校)	2,269名	26校 (定時制高校1校)	1,747名
中学校	2校	59名	2校	30名
計	60校	3,970名	50校	3,599名

※実施校数については1校を複数の年金事務所で年金セミナーを実施するケースもあり、右記教育機関別実施状況表の校数と相違しています。

② 関係団体との協力連携

年金セミナーの開催にあたって、より多くの対象の方に効果的、効率的に制度周知が行えるよう対象の拡大のため、教育機関等へのアプローチに注力しております。

令和6年度においても、宮城県社会保険労務士会、仙台国税局(税務署)、全国健康保険協会宮城支部および健康保険組合との共同開催を行っております。

○関係団体との共同開催状況

	令和6年度 実施回数	令和6年度 対象人数	令和5年度 実施回数	令和5年度 対象人数
宮城県社会 保険労務士会	7回	175名	3回	86名
仙台国税局	5回	368回	4回	199名
全国健康保険協会 宮城支部	3回	120名	1回	50名
健康保険組合	5回	165名	4回	225名
計	19回	828名	12回	560名



年金セミナーの様子

令和7年7月にお送りした資料では、2回と記載しておりました。
修正の上、お詫び申し上げます。

③ 年金セミナー用動画の活用

日本年金機構では、令和2年度以降、年金セミナー用動画を作成し活用しています。

内容は制度をより分かりやすくお伝えできるよう、かつ興味を持っていただけるよう、アニメーションを取り入れる等して、工夫された動画となっています。

日本年金機構ホームページや厚生労働省YouTubeでも視聴可能となっています。

日本年金機構ホームページ内の年金セミナー用動画の紹介ページ

1. 動画

公的年金はみんなの強い味方



公的年金制度についてわかりやすく説明した全3話のアニメーション動画です。皆さんも、主人公のシロウ君と一緒に楽しく公的年金制度を学んでみませんか。

[公的年金はみんなの強い味方](#)

国民年金ってホントに必要なの！講座



公的年金制度を「桃太郎」に例えながら、国民年金の仕組みや役割、大切さをわかりやすくアニメーション動画にしています。学生の方から大人の方まで、幅広い方にご覧いただける内容です。

[国民年金ってホントに必要なの！講座](#)

[国民年金ってホントに必要なの！講座（厚生労働省ホームページ）（外部リンク）](#)

知っておきたい年金のはなし



日本の公的年金制度は、老後の暮らしをはじめ、事故などで障害を負ったときや、一家の働き手がなくなったときに、みんなで暮らしを支え合うという社会保険の考え方で作られた仕組みです。そんな公的年金制度について、皆さまに知っておいていただきたい内容を動画にしています。

[知っておきたい年金のはなし](#)

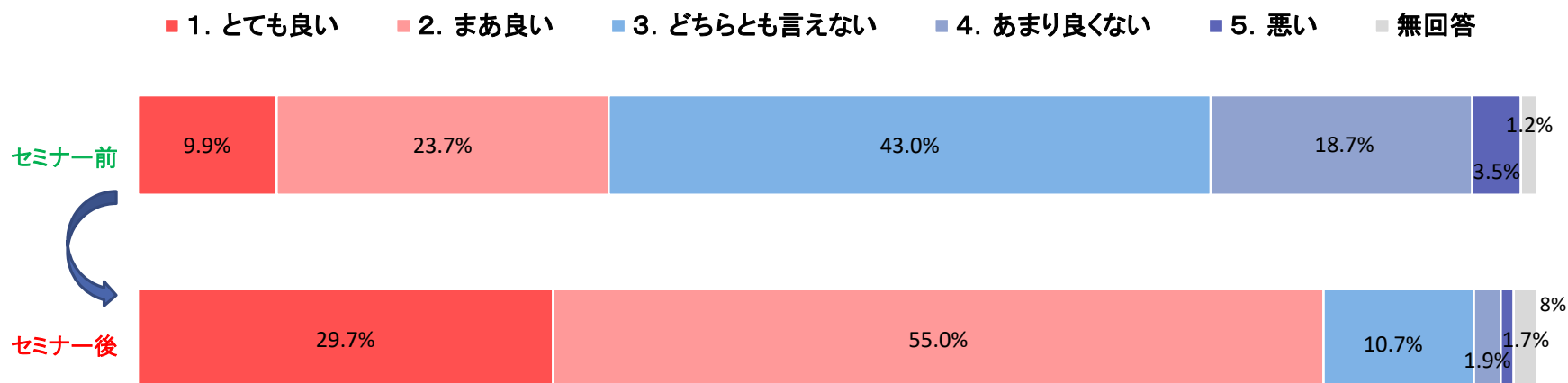
④ 地域年金推進員の活動

地域年金推進員は宮城県内に2名配置されており、県内全域を対象として教育機関への年金セミナー、制度説明会のアプローチやセミナーの講師を行っています。電話や訪問のほか、動画提供によりアプローチをしておりますが、次年度以降にも受講いただけるよう、充実した内容となることを意識しながら取り組んでおります。

※ 地域年金推進員とは？

次代を担う若い世代(学生)に対して、公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員OB、現役の教職員、学校との関係や学生へ伝える能力があると拠点長が判断する方を委嘱しています。地域年金推進員は、学校への年金セミナー実施の依頼や打ち合わせ等の活動をしています。

対象(アンケートを実施したすべての大学・短大・各種学校・高等学校) 令和6年度分



<ご感想の例>

- 長い人生、事故や病気などこの先何が起こるか予測できないので、公的年金は大事だとわかった。(大学生)
- 近い将来、深く関わる年金について知識や理解が浅いまま支払うことに不安があったので、今回学ぶことができて良かった。(専門学生)
- 年金は自分が高齢となった時に支払われるものだと思っていたが、障害年金や遺族年金など現在の自分達の生活にも関わっていて、毎月しっかりと保険料を納めることが将来の生活に向けて大切だと学んだ。(大学生)
- 今まで年金の制度についてのセミナーがなかったため、とても勉強になった。自分のためにもきちんと20歳から年金を納めて老後の生活が安定するように頑張りたいと思った。(高校生)
- 学生で保険料納付の猶予を申請しないと、万が一事故にあった時に障害年金が受け取れないことを知ることができて良かった。申請を忘れないようにしたい。(大学生)
- 少子高齢化による現役世代の減少により、若年層への負担が大きくなることが予想される。将来年金のもらう金額も少なくなりそう。(大学生)

(2) 取り組み状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対応
<p>令和6年度においては宮城県全体の実施校、実施回数および受講いただいた人数において、令和5年度以上の実績を残すことができました。</p> <p>年金セミナー実施後のアンケート結果において、受講いただくことができれば多くの学生の年金に対するイメージが改善することが確認できました。</p>	<p>アンケート結果やいただいた意見・要望を参考に、より効果的で学生に興味を持っていただけるような制度周知方法を検討し、多くの若い世代へ正しく制度周知が行えるよう、皆様にもご協力いただきながら、制度周知や年金セミナーの受講勧奨等を行っていきます。</p>
<p>関係機関等との共同開催による年金セミナーにおいては、対象とする教育機関や受講者を拡大する機会を得られただけでなく、教育機関から効率的に幅広い知識(年金と健康保険制度、税制度等)を得られるとのご意見もいただいております。</p>	<p>年金セミナーにおいて年金制度を正しくご理解いただいた受講者の大部分が、年金に対する意識が信頼のあるものに変わることが確認できたことから、令和7年度以降も、教育機関への積極的なアプローチ継続するとともに、共同開催等のご協力をいただきながら、対象の拡大に注力してまいります。</p>

4 地域相談事業

(1) 事業の取り組み状況

① 自治体等における出張年金相談の実施

例年、年金事務所に来所するには時間のかかるお客様の利便性を考慮し、年金事務所職員が遠隔地にある自治体等において出張年金相談を実施しています。

気仙沼市では、常設の出張相談所を設置しており、令和6年度は、2,671名のお客様にご来訪いただいております。

○気仙沼出張相談所における相談実施状況

年金事務所	設置場所	令和6年度相談者数	令和5年度相談者数
石巻	気仙沼市	2,671名	3,097名

② 社会保険労務士会開催の無料相談会への協力等

仙台駅前のアエルにおいて、社会保険労務士会が開催した無料相談会に仙台東年金事務所職員も参加し、年金受給にかかる相談対応を行いました。

(2) 取り組み状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対応
社会保険労務士会の無料相談会への出張相談を実施する等、関係団体との協力による相談対応を行うことができました。	自治体等における出張年金相談は、地域住民の利便性とニーズを確認しつつ、自治体や関係団体との連携を図りながら令和7年度の実施を検討していきます。

5 年金委員活動支援事業

(1) 事業の取り組み状況

① 年金委員への研修会等

【職域型年金委員】

職域型年金委員は主に社会保険にご加入いただいている法人の事務担当者の方に委嘱いただいております。研修についてはWeb会議サービスによる受講の要望が多いため、社会保険事務手続きや制度改正等にかかるオンラインでの研修を実施しました。

【地域型年金委員】

令和3年度下期に各都道府県に地域型年金委員連絡会を設置し、令和6年度においては計2回の宮城県地域型連絡会を開催しました。

宮城県内の各年金事務所にお集まりいただいた地域型年金委員とテレビ会議システムにより中継し、年金事務所との情報共有、活動依頼、支援事項の伝達および地域型年金委員相互間の情報共有を行いました。また、研修会により、年金受給や国民年金に関する制度改正の留意点等の説明を行いました。

② 年金委員への情報提供

日本年金機構本部から職域型および地域型年金委員に対して、制度の活用と周知・広報を目的として「年金委員活動の手引き」をはじめ、年金制度全般にかかる資料や年金委員向け広報誌等による情報提供を行いました。

また、日本年金機構ホームページ内「年金委員通信」による年金委員制度や取り組みの紹介および年金委員向けの研修資料やリーフレット等の提供による年金委員の皆さまへの情報提供を行いました。

5 年金委員活動支援事業

○職域型・地域型年金委員とは

	職域型	地域型
年金委員の役割	厚生労働大臣から委嘱を受けて、政府が管掌する厚生年金保険や国民年金の事業について、会社や地域で啓発・相談・助言等の活動を行う	
委嘱数 (R6.9月末)	132,536人 (宮城県内3,174人)	8,789人 (宮城県内193人)
活動区域	主に自社内	主に自治会等の地域
活動対象	自社の従業員、そのご家族等	自治体、地域住民等
活動内容	社員への年金制度の概要説明、社内での制度や手続きの周知 「ねんきんネット(およびマイナポータルとの連携による各種電子申請等)」リーフレットの職場や地域内での設置や配付等	地域(町内会等)での制度や手続きの周知、年金相談等

○年金委員向け研修(令和6年度)※()内は令和5年度

	回数	参加人数
職域型年金委員	14回 (13回)	1,231人 (432人)
地域型年金委員	15回 (16回)	118人 (153人)

③ 年金委員表彰式

多年にわたり年金事業の推進および発展に貢献された年金委員の方々に、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。

開催にあたっては、全国健康保険協会宮城支部、宮城県社会保険協会および宮城県社会保険委員会連合会との共催により実施しました。

開催日 令和6年11月20日

開催場所 仙台サンプラザ

表彰対象	厚生労働大臣表彰	2名
	日本年金機構理事長表彰	6名
	全国健康保険協会理事長表彰	3名
	日本年金機構理事表彰	12名
	全国健康保険協会宮城支部長表彰	17名
	一般財団法人宮城県社会保険協会会長表彰	2名
	仙台東年金事務所長感謝状	5名
	仙台北年金事務所長感謝状	2名
	仙台南年金事務所長感謝状	3名
	石巻年金事務所長感謝状	5名
	古川年金事務所長感謝状	4名
	大河原年金事務所長感謝状	3名

表彰伝達式の様子



※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

④ 年金委員の委嘱拡大に向けた取り組み

令和6年度においても年金委員の委嘱拡大に取り組みました。

職域型年金委員については、「短時間労働者にかかる社会保険の適用拡大」の対象となる、被保険者を51人以上有する事業所に対し、制度改正や届出にかかる情報提供等を効果的に行うことを目的とし、新規の委嘱勧奨に注力しました。委員数においては、委員の退職等による減少もあり、大幅な増加とはなりませんでした。未設置事業所への勧奨により、新規委嘱数は令和5年度を上回っております。（令和6年度新規委嘱数218名 令和5年度新規委嘱数205名）

また、地域型年金委員については、特に若年層への制度周知を効果的に行うことを目的とし、教育機関や市区町村職員の方への新規委嘱の勧奨に注力し、新規委嘱数を拡大しました。新たに年金委員の委嘱を受けていただいた方々のアドバイス等を参考に、若年層への制度周知等に取り組んでいくこととしております。（令和6年度新規委嘱数39名 令和5年度新規委嘱数37名）

○年金委員委嘱者数

	職域型年金委員数		地域型年金委員数	
	令和6年度末現在	令和5年度末現在	令和6年度末現在	令和5年度末現在
仙台東	540名	529名	35名	44名
仙台北	658名	645名	36名	37名
仙台南	461名	487名	33名	31名
石 巻	563名	570名	28名	29名
古 川	645名	631名	46名	45名
大河原	307名	311名	15名	16名
計	3,174名	3,173名	193名	202名

(2) 取り組み状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
<p>アンケートによる意見・要望を参考に、研修テーマや連絡会等の開催方法を検討する等、年金委員活動により効果的な情報提供となるよう、広報誌の発行、研修や連絡会を工夫しながら開催しました。</p> <p>年金委員の皆様には、令和6年度においても、お客様の利便性向上のため利用拡大に注力している「ねんきんネット」(個人向けオンラインサービス)の利用勧奨として、リーフレットの設置や配付等のご協力をいただきました。</p>	<p>日本年金機構ホームページ「年金委員通信」等での情報提供と、年金事務所における研修会や連絡会等によるきめ細かな対応を併行するとともに、年金委員制度の周知にも注力し、公的年金制度の普及にご協力いただいている年金委員の皆さんに、より効果的な活動支援が行えるよう検討を重ねながら取り組んでまいります。</p>
<p>年金委員の委嘱拡大においては、職域型・地域型共に新規委嘱者数において、令和5年度を上回ることができました。</p> <p>職域型においては、制度改正の対象となる事業所、地域型においては若年層への制度周知を目的として、対象を絞った勧奨を行いました。</p>	<p>日本年金機構ホームページでの掲載やSNSでの発信等、様々な制度周知方法の検討を重ねておりますが、制度を知らないことで不利益が生じる方を発生させないためには、広報および年金委員の活動支援等において、きめ細やかな対応が必要不可欠と考えております。</p> <p>職場内や地域および教育機関等において年金制度の周知にご協力いただける年金委員の委嘱拡大に取り組んでまいります。</p>

6 「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み

毎年11月を「ねんきん月間」として、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しています。

特に11月30日(いいみらい)を「年金の日」として、国民の皆さまに公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的とした取り組みを実施しています。

○「ねんきん月間」における取り組み内容

第6回宮城県ポスターコンクールの授賞式・作品展の開催をはじめ、年金委員表彰式、年金セミナー・制度説明会、全国年金委員研修の実施等、積極的な公的年金制度の普及・啓発活動を行いました。

宮城県内の6年金事務所共同での取り組みとして、令和6年11月12日～16日の5日間、東北電力グリーンプラザ(アクアホール)において、年金ポスターコンクール展示会を開催しました。

昨年度を超える600名以上の方にご来訪いただき、作品をご覧いただきました。



「年金の日」のポスター

7 宮城県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう、地域における支援のネットワーク等を構築し、地域に根ざした年金事業の推進を積極的に図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しているところです。会議でいただいたご意見については、必要に応じて本部関係部署への情報共有を行うとともに、宮城県内の地域年金展開事業の運営の参考にさせていただいています。

8 各年金事務所の取り組み

仙台東年金事務所

○年金ポスターコンクール展示会

令和6年11月12日～16日の5日間、東北電力グリーンプラザ(アクアホール)において、宮城県内6年金事務所共同で、年金ポスターコンクール展示会を開催しました。

令和6年度は、過去最高となる94作品を展示し、来訪いただいた600名以上の方々に作品をご覧いただきました。

展示会の様子



○仙台国税局・税務署との協力・連携の強化(確定申告会場での取り組み)

令和6年3月、仙台国税局と仙台東地域代表年金事務所において、「連携・協力にかかる覚書」を締結し、以降東北管内の税務署と年金事務所において、広報・制度周知に係る連携・協力を強化しており、窓口来訪者や教育機関等への取り組みを拡大しております。

令和7年2月から3月にかけて、確定申告会場に専用ブースを設置いただき、年金事務所職員による来訪者へねんきんネットの利用・登録のスマートフォンの操作実演による勧奨を行い、多数の方々にオンラインサービスを利用いただきました。

税務署確定申告会場での年金事務所ブースの様子



仙台北年金事務所

○年金セミナー事業

令和6年度は、6月からスタートし、上期は5校、下期は4校の合計9回の年金セミナー実施となり、のべ509名の方々が受講されました。

セミナー実施後のアンケートでは、「年金のイメージが良くなった」「年金は老後だけのことではないと知ることができた」「セミナーを機に年金について家族と話し合いたいと思った」等の意見を頂きました。

今後も、若年層を中心とした受講者の方に、年金制度に興味を持っていただくきっかけとなり、さらに理解を深めていただけるように、引き続き分かりやすい年金制度の周知に努めてまいります。

年金セミナーの様子

○地域連携事業

令和6年度は計8回の年金制度説明会や研修会・講習会を行いました。

関係機関から要望の多い、年金給付制度や障害年金に特化した内容についての研修会・講習会への講師派遣や民生委員の方々に向けた免除制度説明会等を行いました。

今後も関係団体との連携を深めていき、地域の皆様に年金について知っていただく機会をより多く作り、公的年金制度の周知・啓発に努めてまいります。



仙台南年金事務所

○地域連携事業

地域のニーズにお応えするため、研修会・講習等への講師派遣を行っていますが、令和6年度の取り組みとしては、障害者支援施設(宮城県立聴覚支援学校、ハンズ太白および岩沼市総合福祉センター)において父兄向けの障害年金制度説明会および意見交換会を実施しました。

また、地域型年金委員より地域コミュニティの場での年金制度説明会の講師派遣依頼要請があり、年金に関する説明会を行いました。

今後も地域の皆さまが関心を寄せているテーマについて研修等を通じて公的年金制度の周知、理解を深めていただける取り組みを実施してまいります。

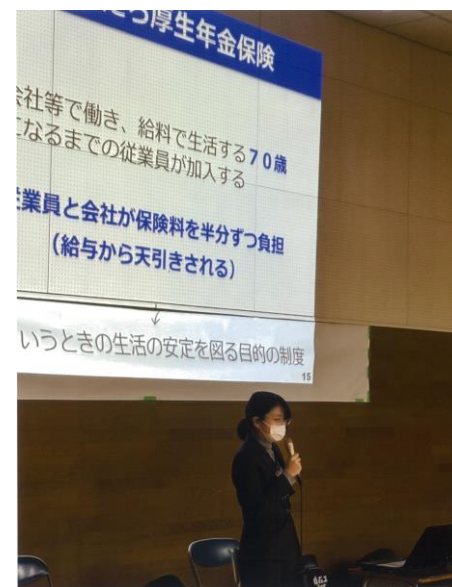
○年金セミナー事業

令和6年度は高校3校、大学2校、専門学校1校で合計6回の年金セミナーを実施しました。

実施後のアンケートでは、年金制度の内容や大切さを理解したとの感想を頂いており、セミナーを実施した学校での年金制度に対するイメージは良くなっていると感じられます。

すべての学校においてセミナーを実施することは難しい状況にありますが、将来の年金制度に対する知識に差が生じないようにできるだけ多くの学校にアプローチを進めていきたいと思えます。

今後も若年世代の方々への分かりやすい年金制度の周知に努めてまいります。



年金セミナーの様子

石巻年金事務所

○年金セミナー事業

令和6年度は6校、合計9回の年金セミナーを実施しました。インフルエンザ感染者拡大により年金セミナーの開催を見合わせた学校もありましたが、全て対面で開催することができました。

いずれの年金セミナーにおいても、実施後のアンケートでは「年金の大切さを理解できた」「年金は老齢年金だけでないことに驚いた」「年金の仕組みが良く分かった」といった回答を数多くいただき、あらためて年金セミナーによる年金制度周知の重要性を強く感じています。

今後はさらに幅広い世代において年金制度に対する理解を深めていただけるよう、より一層取り組みを推進してまいります。



年金セミナーの様子

○地域相談事業

気仙沼出張相談所では、令和6年度、年間で2,671件の相談を実施いたしました。

相談される方は、気仙沼地域を中心とした宮城県在住の方のみならず、全体の11.4%を大船渡市や陸前高田市など岩手県在住の方が占めており、引き続き三陸地域の重要な年金相談拠点となっています。

今後も気仙沼出張相談所および周辺の年金事務所と連携を図りながら、お客様に寄り添った対応に努めてまいります。

古川年金事務所

○年金セミナー事業

昨年度は、新型コロナウイルスの扱いが5類になりましたが、感染拡大防止を意識しつつ、学校側の希望に合わせて、対面開催を5校で8回行いました。

令和6年度は、オンラインでの動画提供を含め、積極的に年金セミナー開催を目指したいと思います。



年金セミナーの様子

○年金委員活動支援事業

昨年度、年金委員の皆さまに対しての連絡会・研修会は、できるだけ出席いただけるよう意識しながら、地域型年金委員連絡会は4回実施、職域型年金委員研修は3回実施しました。地域型年金委員の皆さまと年金事務所との「協力・連携による年金制度周知」について共有したところ、年金相談会や地域コミュニティへの講師派遣依頼を受け実施することができました。

また、迅速な書類届出、ペーパーレス化および利便性を高めるための「電子申請」、「ねんきんネット」の利用促進を図るため、職域型年金委員設置事業所へ訪問による勧奨や周知チラシの設置依頼を行いました。

当所において年金委員の委嘱者数は着実に増えてきており、今後も年金制度をより多くの方にご理解いただくためにも、引き続き年金委員の委嘱拡大に取り組んでまいります。

さらに、「電子申請」「ペーパーレス化」は将来に向けて、急務の課題として取り組んでいます。

大河原年金事務所

○地域連携事業

令和6年度は、職域型年金委員向けの研修会を2回、地域型年金委員連絡会および研修会を2回開催しました。その他地域のニーズにお応えするべく制度説明会を5回開催しました。また、11月の年金月間には、管内の幼稚園と連携し、事務所待合ブースに園児の皆さまの祖父母の似顔絵を展示させていただきました。

令和7年度も公的年金制度の普及・啓発のために関係団体との連携、協力に努めて参ります。

○年金セミナー事業

令和6年度は高校3校、大学1校の合計4校での開催となりました。

実施後のアンケートでは、「年金の仕組みが理解できた」「年金の重要性が理解できた」「年金は老後だけではないことが分かった」等のご意見を頂きました。

今後も、講師のスキルの向上を図り、若い世代への公的年金制度の周知に引き続き努めてまいります。



似顔絵展示の様子